

学校関係者評価報告書

評価実施日

平成29年2月23日(木)

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営 各種たよりを読ませる工夫はできているが、さらに読ませる、保護者に渡す等の指導が継続的に必要。 P T A総会・保護者懇談会への出席率がやや改善されたことは評価できる。 図書館環境の整備と充実、目標を達成し、情報発信もよく行われているが、さらに生徒に本への関心を高める工夫を司書(担当者)中心に行っていかなければならない。</p> <p>(2) 学習指導 教科指導の充実、学力向上とともに、一定の評価が得られており、教職員の取組を評価したい。「生徒による授業評価は授業評価に生かされているか」について、生徒側の評価が低かったが、取り上げる必要性があるのかどうかも含め検討が必要。</p> <p>(3) 工業教育 各種資格の取得・検定合格状況など着実な成果をあげており、地域でも高く評価されているが、さらに増やす指導が必要。 生徒及び教職員のものづくりへの取組に対し、高い評価を得ており地域の誇りである。特にものづくりコンテストや各部門の活躍はすばらしい。</p> <p>(4) 特別活動 共助の大切さ・楽しさをもっと生徒に感じさせ、ボランティア活動への意欲を高める必要がある。今後とも地域住民との交流継続を望む。 部活動の充実はずばらしい。レスリング部の長年にわたる活躍や電気技術部の国際大会金メダルなど、地方の小さな町の高校でもやればできるという自信と誇りを全校生徒に与えた。教職員の指導に敬意を表すとともに、指導の継続を望む。生徒数が減少している状況で、部員を確保することは大変難しいと思われるので、その面からも学校の支援が必要だ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者に毎月始めに「たより」が届くことを周知し、届かない場合は子どもに催促していただくようお願いしていく。生徒に対しては、保護者に必ず渡すように指導を継続していく。 ・ 総会前の授業自主参観や、進路ガイダンスの機会を今後も設けたい。 ・ 館内の特設コーナーの設置や掲示方法の工夫により、さらに環境を整えたい。図書館通信や昼休みの放送等を通して、読書に興味を持たせ、読書に親しむ生徒を増やしていきたい。 ・ 生徒による授業評価や、教員の相互授業研修を通じた取組が授業改善につながり、一定の評価を得られているものと考えられる。今後更に評価結果の集計・分析を行い、改善策を検討して、学習の目標が達成できるよう検証していきたい。 ・ 各種資格・検定の合格率を向上させることにより、取得数の増加に繋げるために、ジュニアマイスター顕彰の推奨を勧めていきたい。 ・ 本年度の結果に満足することなく、職員の技術向上、生徒の意欲を引き出す指導に取り組んでいきたい。 ・ ボランティア活動について、教科や家庭クラブの活動で育んだ関心・意欲がさらなる行動・実践につながっていくよう情報の共有や体験学習を工夫していきたい。 ・ 学校行事・部活動については、生徒数の減少による課題に対して具体的な展望を持ち充実した活動となるよう取り組んでいきたい。

<p>(5) 生徒指導 遅刻者数、回数とも減っており、指導効果が現れている。挨拶は良くできているが、できない生徒が少数いることは残念。根気よく校門指導などを継続して、挨拶ができるようにすることが必要。</p> <p>(6) 人権教育 人権教育の必要性・重要性、何が問題なのかを生徒が納得するまで時間をかけて説明し、教育していくことが大事。 いじめをなくする取組は、高校生という多感な年代の教育だと理解して、少しでもよくなるように続けねばならない。 生徒が相談しやすい環境作りは、非常に難しいことである。</p> <p>(7) 進路指導 就職希望者全員内定は大いに評価できるが、就職試験の一次合格率をあげるための改善が必要。 昨年も基礎学力不足の改善が問題点に上がっていたが、日々の積み重ねを重視していくことを望む。 進学希望者の合格率100%は評価できる。保護者アンケート「進路に関する話をよくしてくれますか」の評価項目が少しでも高くなることを望む。</p> <p>(8) 学校保健 継続した毎朝の健康観察は評価できる。朝食欠食が原因で体調不良者が多いことについては、保護者との連携が必要。「保健だより」の掲載内容は充実しており、評価できる。</p> <p>(9) 学校安全 予告なしの訓練も含めて防災訓練の回数は評価できる。意識の向上が何より重要である。安全を徹底してほしい。</p> <p>(10) 学校行政 環境はよく整備されており、来客応対も丁寧。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻者数がさらに減少するように、今後も5分前登校を強く奨励して行きたい。また、挨拶についても学校活動のあらゆる機会を捉えて全校への定着を図って行きたい。 生徒が主体的に考え、取り組むことができるようホームルーム活動を工夫する。また、人権だよりや人権集会の内容もさらに改善し、啓発に努める。 日頃から生徒への声かけを積極的に行うよう教職員の意識を高め、生徒とのよりよい関係を構築し、いじめの早期発見、早期解決を図る。 基礎的な学力の維持、特に文章の読解力を鍛えることが、筆記試験の主流であるSPIへの対応策だと考える。さらに、日々の活動を通してコミュニケーション能力の向上を図り、就職一次試験の合格率の向上につなげていきたい。 上級学校へ進学してから何を学び何を身につけるのかという勉学の目的を明確に設定させる指導を行い、早期に受験校が具体的に決定できるよう指導していきたい。 日々の活動において、卒業後の自分の姿がイメージできるような指導助言を行い、進路決定が身近なこととなれば保護者とも進路に関する話ができるようになると思う。 引き続き基本的生活習慣の確立を目指し、継続した指導を行って行きたい。「保健だより」の内容を充実させ、保護者との連携も図りたい。 緊張感を持って訓練を実施することにより、生徒・教職員の防災に対するさらなる意識の向上を図りたい。 さらに環境整備、丁寧な接遇に努めたい。
<p>2 重点努力目標について 目標の達成に向けて、真摯に取り組んだ成果が数値に現れており、適切に行われている。工業らしさが発揮されている。</p> <p>3 説明・公表について 適切だと思う。</p> <p>4 学校運営全般について 総合的にみると、WROの金メダル、レスリングの優秀な成績、ものづくりへの情熱、手入れの行き届いたバラ園、若さが弾ける体育祭、感動の卒業式 等々、地域住民からも評価されており、地域の誇りであり、もう少し高い評価をしてよいと思う。 部活動の充実ぶりは、運動部・文化部ともにすばらしいものがある。指導教員の負担が蓄積することのないように配慮して学校経営を行ってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも工業高校の特質を生かし、ものづくりを通して人をつくり、地域や産業界から信頼される学校となるよう生徒と教職員が一丸となって、保護者や地域の協力を受けながら努力していきたい。 今後もホームページや各たよりを活用し、分かりやすくタイムリーな情報発信に努めたい。 学校運営全般について高い評価を得ているが、現状をさらに良いものにしていく意識を教職員一同が持ち、生徒により良い指導ができるよう努めたい。 さまざまな問題に気を配り、総合的に優れた学校経営を行って行きたい。